



授業の様子（9月24日）

夢先案内企画①

～自動車整備士編～



タイヤ点検体験（9月17日）

神浦の風



長崎市立
神浦小学校
文責
校長 津田康史

観光学習

長崎（神浦）のすてきを観光で！

九月二十四日に長崎観光コンベンション協会主催で名桜大学特任教授 寺本潔氏による観光教育出前授業が行われました。

五時間目は全学年で観光資源について副読本で学び、六時間目は、中学年と高学年に

分かれ、地域理解と接客体験を学ぶ機会をつくりました。五時間目に、長崎のすてきな観光資源を子どもたちが挙げる際、自然・鯉来い祭り・火祭りなど神浦になじみのあるものが出てきました。六時間目は、顔ハメ教材や接客体

験で表現力を支える「相手意識」を学ぶことができました。何より、今日の子どもの感想では、観光を通して日本、長崎、そして神浦のよさを改めて感じる内容が記されていました。当日は、地域の方も多く足を運んでいただき、意見交換会でも貴重な意見をお話ししてくださいました。本当にありがとうございました。

裏面あり

本校の子どもたちにとって自動車は、まだ操作をすることができませんが、身近な交通手段です。そんな生活に密接にかかわる仕事について触れる体験をすることは、子どもたちが未来に生き抜くために大いに役立つと考えています。次回は、来月二十一日に手話通訳士編を企画しています。

九月十七日に、待望の夢先案内企画第一弾として、自動車整備振興会の方を招き、講演をしていただきました。この講演を経て、子どもたちが自分の職業観に生かしたり、新しい発見をしたりすること、その構造や重さを実感することができました。講演では、まず実演として自動車の部品や動く仕組みについて触ったり説明を受けたりました。実際の部品に触れることで、その構造や重さを実感することができました。

次に、タイヤの溝をデプスで測るなど安全な点検の仕方を学ぶことができました。デプスはおみやげとしていただき、子どもたちは家の車で試したいと、意欲をもつことができました。その後、ハイブリッド、ノーマル（ガソリン）、電気自

動車の三台を比べ、その違いについて説明を受けました。これから環境にやさしい電気自動車が増えていくこと、そのため電気を取り扱う資格が必要になることを子どもたちは興味深く聞いていました。最後に、整備士になる方法は専門学校に行く方法と仕事

小体会



児童の作品（ハロウィン飾り）

十月十五日（水）に小学校体育大会が、長崎県立総合体育館で開催されます。本校はボッチャに出場します。二試合行われますが本校のよさである温かく穏やかな態度で、他校と交流ができればよいと思います。応援をよろしくお願いします。

をしなから資格を取る方法があることも紹介していただきました。

説明が丁寧で、子どもたちは実演することもできたので興味深く参加することができあつという間に一時間が過ぎていました。

【11月の行事予定】

- 3日（月）文化の日（祝日）
5日（水）池島小交流
7日（金）社会科見学（中学年）、委員会活動
8日（土）まちづくりアイデアコンテスト（市役所 14:30～16:45 本校児童も発表します。）
10日（月）心の時間（全校集会）
11日（火）小音会（全学年…お弁当の日）
13日（木）外海ふれあい広場リハーサル
14日（金）外海ふれあい広場会場設営
16日（日）外海ふれあい広場
17日（月）外海ふれあい広場代休
19日（水）池島体験（全学年…お弁当の日）
21日（金）池島小交流、代表委員会
24日（月）勤労感謝の日振替休日
27日（木）避難訓練（不審者対応）

※ 訂正します！

前号で10/15の小体会の日の
「全学年お弁当」を「5・6年
お弁当」に変更します。

【小学校音楽会】

今年度も小音会に出場します。今回は、「棚田へ行こう」と「ふるさと」の2曲に挑戦します。毎日少しずつですが練習に励み、美しいハーモニーを響かせ、本校の伝統を守ろうと気持ちを高めています。会場は遠いのですが、ご都合のつかれる方は子どもたちの頑張りをご覧ください。

期日・・・11月11日（火）

開場・・・9：00（神浦小学校は午前中の発表です）

場所・・・長崎ブリックホール 大ホール

【お知らせ】

前号でお知らせしましたとおり二学期の重点目標として「①伝える力のアップする」と「②笑顔になる言葉を増やす」をあげていました。子どもたちは、次のような目標をもち取り組んでいます。

① の取組

- ・相手の目を見て、よゆうをもって話す。
- ・口を大きく開けて、大きな声で伝える。
- ・場面に合った言葉を使って伝える。

② の取組

- ・優しい言葉を使い、いやな言葉・ネガティブな言葉は使わない。
- ・お礼や相手をほめる言葉を使う。
- ・感謝の気持ちを伝えるよう心がける。

「ありがとう」「ごめんなさい」「大丈夫？」「いっしょにしよう」を多く使う。

ご家庭でも称賛や激励をいただけるとうれしく思います。